

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年4月16日 (月)
 NO. 850号 本号3頁

「安陪やめろ」と国会前に5万人

森友・加計疑惑の真相究明、安倍内閣総辞職を求める行動が14日、全国20ヵ所以上で行われ、大規模な抗議行動・デモが行われました。

国会議事堂前では、午後2時から「総がかり行動実行委員会」、「未来のための公共」、「Stand for Truth」の3団体が主催して抗議デモが行われ、警察の規制線を超えて正門前の車道が埋め尽くされるなど、5万人が参加しました。正門前の車道にも人々があふれたのは、2015年の戦争法反対の大行動以来のことです。

抗議デモに集まった人々は、「全部明らかにしてください」とか「まともな政治を」などと書かれたプラカードを掲げ、地鳴りのようなコールを響き渡らせ、真相解明に向けての徹底究明、安倍内閣退陣を求める訴えを続けました。

主催者を代表してあいさつした総がかり行動実行委員会の福山真劫さんは、安倍政権によって憲法破壊と政治の私物化が進んでいると指摘し、「これ以上、安倍政権を延命させたら、日本の平和と民主主義、誇りは地に落ちてしまう。今度こそ市民と野党の共闘で退陣させよう」と呼びかけました。



立憲民主党、日本共産党、社民党の国会議員が多数参加。立憲民主党から長妻昭代表代行、共産党から志位和夫委員長、社民党から又市征治党首があいさつしました。共産党の志位委員長は、森友・加計疑惑、自衛隊のイラク「日報」隠ぺいなど一連の疑惑について国会で徹底究明すると表明し、市民と野党の力を合わせて「安倍内閣を退陣させよう」と呼びかけました。立憲民主党の長妻昭代表代行は「政府・与党が本当に真相究明をしたいと思えば、森友、加計問題は1ヵ月あれば全部真相究明できる」と指摘し、与党側に真相究明に応じるよう求めました。

その後、市民や学者らがマイクを握り、訴えました。学者の会・市民連合の佐藤学氏は、「日本の政治、国会、官僚組織、これほど腐りきった姿を目撃したことはない。国会を私たちの力で取り戻しましょう。韓国では市民が大統領を追い出しましたが、韓国では市民の基本的な人権や労働者、平和を守る新しい憲法草案が提唱されています。私たちも一日も早くまっとうな政治の道を歩みだそうではありませんか」と訴えました。また、立教大学の金子勝氏は「文書改ざん・隠ぺいに対して、国家あるいは民主主義の統治機構そのものの崩壊を意味する危機感を強くしています。こんなことが許されるならば、どんな巨悪も政策も、どんな不正や腐敗も正当化されてしまう。私たちは安倍首相を絶対に許すことはできない。辞めるまで徹底的に追及しないとイケない」と語りました。

参加した30代の女性は「次々と文書の改ざんや新たな資料が見つかり、怒っている。柳瀬氏の証人喚問を行って真相を解明してほしい」と話していました。50代の男性は「文書の改ざんや隠蔽が相次げば民主主義が壊れる。安倍政権は責任を取って総辞職すべきだ」と話していました。

「アベ政治を許さない」キャンドル掲げて抗議

森友公文書改ざんや、9条改憲案にキャンドルを掲げて抗議するデモが14日夜、国会前で行われました。作家の澤地久枝さんが中心になって呼びかけ、小雨の降るなか、300人が参加しました。

オレンジ色のキャンドル(小型ライト)を持つ参加者らのもう片方の手には、「アベ政治を許さない」のプラカードを持ち、静かに抗議しました。「アベ政治を許さない」のプラカードは、2月に死去した俳人の金子兜太さんに澤地さんが頼んで揮毫(きごう)してもらった言葉です。

澤地さんは、民主主義を支える公文書が改ざんされる政権下で、9条改憲論議が進むことに「言い表しようのない怒り」を感じ、数万人規模のデモ等と別の形での意思表示を模索し、韓国の市民が朴槿恵(パククネ)政権に抗議するため、ろうそくを手に集会をしていたのを参考に実施したと語っています。

「隠ぺい、改ざん、ねつ造、圧力 安倍政権退陣へ

野党合同院内集会」 野党6党が開催！

13日のお昼(12時10分より約30分間)に、立憲民主党、民進党、希望の党、日本共産党、社会民主党、自由党の野党6党が参加し、「隠ぺい、改ざん、ねつ造、圧力 安倍政権退陣へ 野党合同院内集会」が、衆院第一議員会館内の多目的ホールで開催されました。この集会は「安倍政権の様々な問題や疑惑について整理・確認するとともに、野党6党が一致結束して集中審議や証人喚問を求める院内集会を開催する」ことを目的に開催されました。

集会には、各党の幹事長はじめ、多数の議員と秘書、そして駆けつけた市民が参加し、今国会で第問題となっている5課題で各党が分担して報告し、最後に「安倍政権退陣に向けてガンバロー」と三唱し、結束を固めました。

司会は、立憲民主党国対委員長代理の山内康一氏。報告では、立憲民主党の本多平直衆院議員が「日報隠ぺい」問題を報告し、その後、民進党の櫻井充参院議員が「加計疑惑」、希望の党の岡本充功衆院議員が「厚労問題」、日本共産党の辰巳孝太郎参院議員が「森友問題」、社民党の吉川元衆院議員が「教育介入」で5問程度ずつ報告しました。

加計疑惑について、櫻井氏は「一番の問題は安倍首相による政治の私物化だ。韓国では友人を優遇した大統領を、野党と国民の力で退陣に追い込んだ。日本でも安倍政権を退陣に追い込み、解散・総選挙で政権を交代させよう」と訴えました。

森友問題で報告した辰巳氏は、「ここまで追い込んできた」と語りはじめ、なかったゴミの撤去費用として8億円値引きした問題等を取り上げ、「安倍首相は昨年『ゴミがあるから値引きは当然だ』と答弁したのに、今や答弁に立てず、部下に責任を押し付けている」と批判し、さらに公文書改ざん問題にも触れ、「根は全て安倍政権を守るためだ。安倍政権が続くほど日本の民主主義が傷つく。6野党が一致結束して安倍政権を退陣に追い込もう」と呼びかけました。

最後に、自由党の玉木デニー幹事長の掛け声で、「安倍政権退陣に向けてガンバロー」を三唱しました。

◆憲法共同センターの呼びかけで参加しました。新聞では民進党と希望の党が連合の呼びかけで新党を結成することが報道され、野党間共闘の亀裂を心配していましたが、6党が勢ぞろいし、各党からの報告も熱のこもった訴えがあり、「野党が結束して」との言葉が繰り返されるなど、野党共闘の力強さを感じた集会でした。これも、この間全国各地で創り上げてきた市民の共同、市民と野



党の共闘の成果だと痛感しました。そして、この野党とともに、市民が奮闘すれば、安倍内閣の退陣に追い込むことができると確信しました。(憲法会議 高橋)

国民救援会が90周年講演会・レセプション開催

日本国民救援会は13日、創立90周年を記念した講演会とレセプションを、東京都内で開催しました。

講演会では、鈴木亜英会長が、国民救援会は1928年絶対主義的天皇制の下、日本が戦争への道を歩むなかで人権を守るために設立されたことを紹介。現在、安倍政権の戦争ができる国づくりのなか、日本国憲法が戦後最大の危機を迎えているとして、「しっかり学び、人権を支える憲法を守ろう」と訴えました。

講師の渡辺治・一橋大学名誉教授が「安倍9条改憲と国民のたたかい」とのテーマで講演しました。森友・加計疑惑、自衛隊日報隠ぺいなどで「安倍政権に改憲を行う余裕はない」とするマスコミの報道があるが、改憲の危険性を過小評価するものだと強調しました。そして、①安倍首相はなぜ9条改憲に執念を燃やすのか？②安倍首相と自民党は、なぜこんな9条改憲案を提起したのか？③安倍9条改憲の危険性—自衛隊はどう変わる？④かつてない市民の共同・300万人署名で安倍改憲を阻もう！と4点について講演されました。渡辺氏は、安倍首相は「ともに血を流せ」という米トランプ政権の圧力にこたえるという面、日本を軍事大国として復活させたいという首相の特異な野望という面から、改憲をあきらめることはない指摘。全国九条の会と総がかり行動の共同が始まったことを紹介し、市民と野党の共同を広げ、安倍9条改憲反対300万人署名を成功させ、「安倍政権を倒し、改憲を阻止しよう。この1年が正念場だ」と力説しました。



その後、玉川寛治・国民救援会顧問が同会の戦前の活動を、当時の資料を示しながら、紹介しました。

レセプションでは、自由法曹団の船尾徹団長、日本共産党の志位和夫委員長、社民党の福島みずほ副党首が、来賓としてあいさつしました。

各地のとりのくみ

札幌 冷たい雨の中、安倍政権の退陣を求め300人がデモ行進

「戦争させない北海道委員会」は12日夜、安倍政権の国政私物化と暴走政治は許せないと、3週連続で、「森友問題徹底究明！安倍政権の退陣を求める」緊急総がかり行動を札幌市内で行いました。

冷たい雨の中でしたが、「安倍内閣総辞職」等の横断幕やプラカードを掲げ、300人が力強くデモ行進し、市民にアピールしました。

北海道平和運動フォーラムの長田秀樹代表は「加計学園問題でも首相案件という言葉が出てきた。もう退陣しかない」と訴え、「地元紙の世論調査で内閣支持率が最低の30%になった。森友、加計、自衛隊日報問題で抗議の声をあげよう」と訴えました。

岩本一郎北星学園大学教授、池田賢太弁護士、若者グループ「ユニキタ」の更科ひかりさんが「安倍政権に日本の政治を任せるわけにいかない。一刻も早く政権を終わらせよう」と訴えました。

デモを見ていたスーツ姿の男性は「テレビで見たことはあったけど、初めてデモに遭遇しました。元気があっていいですね。今の政治はあまりにもひどい。安倍首相はもう辞めるしかありません」と語りました。